

さんぶつげ
讃仏偈

■ 楽曲データ

歌詞：讃仏偈

楽曲：大橋 博 作曲

初演：—

初出：—

管理番号：M862

■ 創作の経緯

相愛女子学園（現：相愛学園）の音楽法要において、昭和30年代から用いられてきた楽曲。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第1巻収録

底資料：『聖歌』相愛学園 1991年

比較資料：『第一回宗教教育研究会 聖歌』本願寺派学校連合会

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

宗門関係の相愛学園で、長年歌われてきた讃歌です。作曲は相愛女子大学（現：相愛大学）教授を勤めていた大橋博（1923～1977）です。

音楽礼拝の経段として、用いることができます。女声三部合唱の形式で作曲されていますが、旋律のみを斉唱してもよいでしょう。

曲は、大きく3つの部分からなっています。

A) 9～28小節（光顔巍巍～究其涯底）：漢字一文字を四分音符のリズムで歌っていきます。

B) 29～46小節（無明欲怒～威神難量）：Aの旋律を、1/2の音価で歌います。途中から、ソプラノのオブリガートが加わります。

C) 47小節以降（令我作仏～）：Aから派生したメロディー（前奏と同じ）を2回繰り返した後、Aの旋律が戻ってきて終曲となります。